

令和7年度

事業概要

鳥取県立総合療育センター

理念と基本方針

理 念

私たちは、障がいについての質の高い医療・福祉サービスを提供し、安全で安心できる豊かな社会生活に向けての支援を行います。

—利用者の皆さまとともに、今も未来も、豊かで楽しい生活をめざそう。—

基 本 方 針

- 1 私たちは、利用者中心の医療・福祉サービスの提供を行います。
- 2 私たちは、地域の多くの人たちと協働して、障がい児・者とその家族の地域生活を支援します。
- 3 私たちは、自己研鑽に励むとともに、障がい児・者の医療・福祉従事者への研修の場を提供します。
- 4 私たちは、総合療育センターを構成する者として、その運営に積極的に取り組みます。

沿 革

| | |
|------------------|---------------------------------------|
| 昭和 30 年 8 月 1 日 | 県立民営整肢学園として発足 |
| 昭和 38 年 4 月 1 日 | 県立県営整肢学園に移管 |
| 昭和 63 年 4 月 1 日 | 県立皆生小児療育センターと改称し外来部門を新設 |
| 平成 15 年 7 月 1 日 | 県立皆生小児療育センター通園部を新設 |
| 平成 17 年 4 月 1 日 | 県立総合療育センターと改称 |
| 平成 17 年 5 月 1 日 | 全面改築し新施設移転（重心棟を除く） |
| 平成 17 年 7 月 16 日 | 重症心身障がい児者 B 型通園開始 |
| 平成 17 年 8 月 1 日 | 歯科開設 |
| 平成 18 年 3 月 22 日 | 重心棟竣工 |
| 平成 18 年 4 月 1 日 | 重症心身障がい児施設開設 |
| 平成 18 年 4 月 24 日 | 重心棟使用開始 |
| 平成 22 年 4 月 1 日 | 地域療育連携支援室開設 |
| 平成 24 年 4 月 1 日 | 生活介護事業開始 障がい児入所施設、医療型児童発達支援センターへ移行 |
| 平成 25 年 4 月 1 日 | 相談支援事業開始 |
| 平成 31 年 4 月 15 日 | 居宅訪問型児童発達支援事業開始 |
| 令和 6 年 3 月 8 日 | 保育所等訪問支援事業開始 |
| 令和 7 年 4 月 1 日 | 児童発達支援センターへ移行（旧医療型一元化） |

入所定員 69 床（運用定員 61 人） 通園定員 10 人

職員数 95 人（定数）

敷地面積 29,133.12 m²

建物面積 7,885.13 m²

目 次

| | 頁 |
|-----------------|----|
| I 総合療育センターの概要 | 1 |
| 1 役割と機能 | |
| 2 施設基準届出事項 | |
| 3 組織の構成と業務 | |
| II 外来療育 | 5 |
| 1 外来の状況 | |
| 2 臨床検査、薬局、X線検査 | |
| 3 歯科診療 | |
| 4 小集団活動 | |
| III リハビリテーション | 15 |
| 1 理学療法 | |
| 2 作業療法 | |
| 3 言語聴覚療法 | |
| 4 心理療法 | |
| IV 入所療育 | 21 |
| 1 入所療育 | |
| 2 入所棟看護 | |
| V 社会参加支援 | 23 |
| 1 社会参加支援 | |
| 2 入所児童の生活 | |
| 3 地域移行支援 | |
| VI 通園療育 | 27 |
| 1 児童発達支援センター | |
| 2 多機能型生活介護事業所 | |
| VII 給食・栄養管理 | 31 |
| 1 給食の概要 | |
| 2 栄養管理・栄養相談 | |
| VIII 地域連携 | 33 |
| 1 障がい児等地域療育支援事業 | |
| 2 相談支援 | |
| 3 地域課題への取り組み | |
| IX 実習生等の受入れ | 35 |
| X 療育実践研究発表 | 36 |